

子どもの自己有用感を高める学級活動の在り方
～人を思いやる表現やスキルの育成を通して～



高千穂町立高千穂小学校
教諭 馬原 巧平

1

本研究における自己有用感は、

**自分が必要で大切な存在である
ということをも自分自身で
認識する感覚のことである**

と考える。

2

- 自己有用感を高めたい！
- よりよい人間関係を築いてほしい！
- 安心して学校生活を送って欲しい！

3

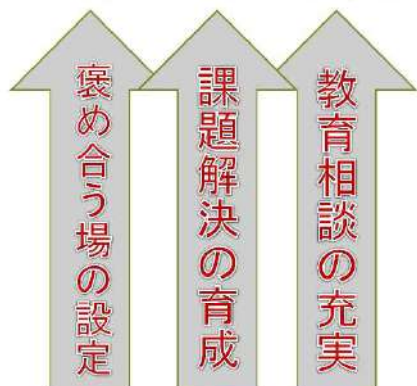
そこで…

互いに褒め合う場

全員で学級の課題解決

4

自己有用感の高まり



人を思いやる表現

人と関わるスキルの育成

5

- 1 褒め合う場の設定
- 2 課題解決の育成
- 3 教育相談の充実

6

1 褒め合う場の設定

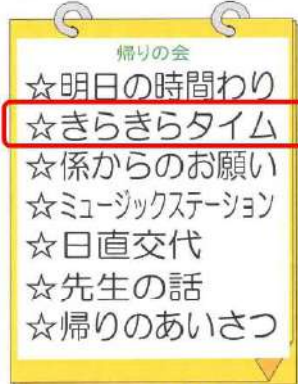
効果的な褒め合う場の
設定の在り方とは？

7

- (1) 褒め合う場の設定
- (2) 認め合う態度の育成
- (3) 家庭での褒める場の設定

8

(1) 褒め合う場の設定



児童がより主体的
に褒め合える場の
設定

褒め言葉のシャワー

9

(1) 褒め合う場の設定

褒める児童を限定

- ・ 日直の1日の行動を観察する
- ・ 日直の頑張りを言葉で伝える
- ・ 全員が必ず褒める

児童全員が定期的に褒められる

10

(1) 褒め合う場の設定

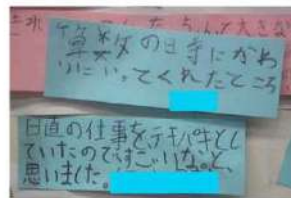
褒め言葉の視覚化



常時、振り返り

11

(1) 褒め合う場の設定



褒める視点の広がり

12

(2) 認め合う態度の育成

わたしメッセージ



「I(アイ) (わたし) メッセージ」
「I(アイ)」を主語にして話すと、相手に
受け止めてもらいやすくなる。



わたしメッセージを取り入れた
スキルトレーニング

13

(2) 認め合う態度の育成

学級活動
『わたしメッセージで
伝えよう』



昨日は、手伝ってくれて
うれしかったよ。やさし
いね。

ありがとう。



自分の気持ちを言葉に織り込
み、相手に気持ちを伝えるこ
とができるようになった。

14

(3) 家庭での褒める場の設定

親子褒め言葉のシャワー

- ① スキンシップを通して、
温かい言葉かけをする
- ② お手伝いの場を作り、
活躍の機会を作る
- ③ ほめる、励ます、認める
言葉かけを行う

15

(3) 家庭での褒める場の設定

学級通信での情報提供

☆今週のキラリ人☆
さん

理科の授業が早く終
り、「花だんの草抜
きに行こう」と提案
してくれました。花
だんに着くと、草抜
きと花のたね取りを
夢中になってしてい
ましたね。

児童
顔写真

さん、きっ
かけの言葉、ありが
とう!!

家庭内での
自己有用感
の高まり

児童と教師
の信頼関係

16

2 課題を自ら 見出し、解決する 態度の育成

学級の児童が学級への所属感を
高め、安心して学校生活を送る
人間関係の醸成とは？

17

(1) あすみな3松ミッション

18

(1) あすみな3松ミッションの設定



自分達の手で「や
ればできる！」と
いう成就感と自信
を獲得することが
できる場の設定

あすみな3松
ミッション

19

『あすみな3松ミッション』

- ① 学級の課題を話し合う。
- ② ミッションを決める。
- ③ 作戦を決める。
- ④ 評価と改善を行う。
- ⑤ お楽しみ会を行う。

20

(1) あすみな3松ミッションの設定

第1弾 (4月)	5日間、くつ・シューズ・スリッパをきれいにそろえよ。
第2弾 (6月)	5日間、すてきなあいさつをせよ。
第3弾 (9月)	5日間、時間以内に給食を食べよ。
第4弾 (11月)	5日間、活動と活動の間の無駄なおしゃべりをやめよ。
第5弾 (1月)	5日間、ハンカチ・ティッシュ・マスク・名札を持参せよ。
第6弾 (2月)	1日1回、発表せよ。
第7弾 (3月)	6つのミッション(第1~6弾)をクリアせよ。

21

(1) あすみな3松ミッションの設定



ミッションの視点化

22

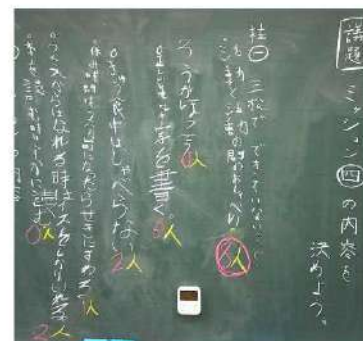
(1) あすみな3松ミッションの設定



年度末の振り返り

23

(1) あすみな3松ミッションの設定



1学期当初と比べて…



所属感の高まり

学級の課題を肯定的に理解

24

3 個々の児童の課題の対応

表現の苦手な児童への指導の在り方とは？

25

- (1) アンケートの実施
- (2) アンケート等の活用
- (3) A児童の変容
- (4) B児童の変容

26

(1) アンケートの実施

	あてはまる考えを○でかこみましよう。			
① わたしは、クラスの人の役(やく)に立っていると思う。	思う	まあまあ思う	あまり思わない	まったく思わない
② わたしは、クラスの大切な仲間(なかま)の一人だと思ふ。	思う	まあまあ思う	あまり思わない	まったく思わない
③ わたしは、クラスの中にこまった人がいたら助けてあげる。	する	まあまあする	あまりしない	まったくしない
④ わたしは、クラスの人の手伝い(たすけ)をすることがある。	する	まあまあする	あまりしない	まったくしない

栃木県総合教育センターが実施した「ふだんの生活や思っていることに関するアンケート」を参考

6月、10月、12月に3回実施



学級集団と児童における自己有用感に関する意識と行動の変容

27

(2) アンケート等の活用

- ハートフルアンケート
- 日常の行動観察

28

(3) A児童の変容

学年当初

- ・ 3年生の女兒
- ・ 交友関係が狭く、一部の友達としか関わろうとしない
- ・ アンケートでは、クラスの人にあまり支えられていないと答える
- ・ 自分の気持ちを表現することが苦手

29

(3) A児童の変容

手立て

- ・ 児童が、友達とよりよい関わりができた時は褒める
- ・ トラブルがあったときは、わたしメッセージで伝える
- ・ 定期的に振り返りの時間を設定
- ・ 家庭との連携

30

(3) A児童の変容

1学期当初と
比べて…



3学期

- ・ クラスの人に支えられている
- ・ 主体的に友達に関わることができるようになった
- ・ 交友関係に広がりが見られた

31

(4) B児童の変容

学年当初

- ・ 3年生の女兒
- ・ 性格は温厚で友達に優しい
- ・ 人間関係づくりにおいて、受動的な部分が多く、昼休みに一人で過ごすことが多い
- ・ 自分の気持ちを表現することが苦手

32

(4) B児童の変容

手立て

- ・アンケートで変容を確認
- ・係活動を中心に、言葉かけ
- ・スキルトレーニング
- ・定期的に振り返りの時間を設定

33

(4) B児童の変容

1学期当初と
比べて…



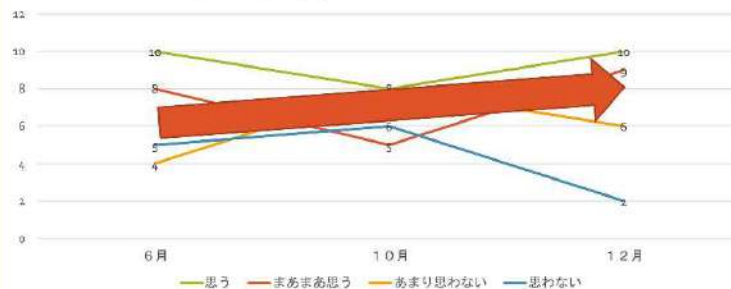
3学期

- ・係活動で自信をもち、友達と積極的に活動するようになった
- ・友達に積極的に関わる姿が多く見られるようになった

34

研究の成果

わたしは、クラスの大切な仲間の
一人だと思う。

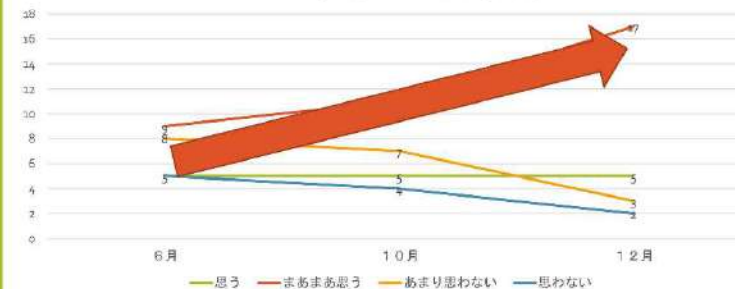


学級の所属感の高まり

35

研究の成果

わたしは、クラスの人から、
ほめられることがある。



学級内での存在の認識の高まり

36

研究の成果

- 友達を日常的に褒めるスキル向上
- 学級や個人の課題解決に向けて意識向上
- 学級への所属感が高まり、安心して人間関係づくりを行う児童の増加

37

今後の課題

- 互いのよさを伝え合う活動を意図的・計画的に継続して行う必要がある
- 家庭への更なる啓発活動も必要である

38



39